

帝キネ首屋現代映畫

脚色並監督者 松本 英一氏

撮影者 下村 健二氏

主要役割 南場宗平 高堂 國典氏

娘 お民 柳まさ子嬢

大島お兼 園千枝嬢

息 新吉 里見 明氏

女 將 小池 春枝嬢

金持 淺野 節氏

解説——「紫の尼僧」について松本英一氏が自作を監督製作したものである。

略筋——酒のため身代を失った南場宗平は、娘お民と立ちん坊をして居たが、或日酒のために大勢の職工に殿られ再び立つが事出来なくなつた。お民は父の爲身を賣つたが其心盡しも空しく父はその翌日亡くなつた。其後お民は不良の新吉を純情な戀心から改心させようとしたが却て奸計に陥れられ彼女も亦父の跡を追つた。